個別の参照設定に対する、科目・枝番などの追加手順

個別の参照設定とは、

全参照用 以外に設定された

制限つきの参照範囲設定です。

例えば、本社外の拠点情報のみが登録された"拠点用"や

現預金の情報のみが登録された"現預金用" などの 個別の設定を利用されている場合は、

引き続き、この後の処理を行ってください



今回も、管理者コンソールを使います。

この管理者コンソールを起動させます

racle ODBCドライバ接続	
サービス名(S)	
ICST01	
ユーザー名	
zaimua	取消
パスワード	バージョン情報(B)
*****	<u></u>

OracleODBCドライバ接続 では、 ユーザー名に zaimua と入力し パスワードの枠には、所定のパスワードを入力してOKを押します

選択				
作業者名	通常利用者	-	17557/01	+ >>+1/0>
₩° ス ワード រំ	通常利用者		1唯記(2)	40/00(<u>C</u>)
	ジス元管理者 ICST作業者			

作業者の選択において、3つの候補が出ますが、システム管理者が選択された状態でEnterを押します

作業者名	システム管理者	¥	(100 117 AN)	+ 511/01
ለ° አワート*	****		(確認(5))	44/00(<u>C</u>)

パスワードを入力し、Enterキーを押して、確認(S)を押します



管理者コンソールのメニュー画面が現れます。

システム管理者を選択した場合は、メインメニューには メインメニューに複数のメニューが表示されます。

メインメニュー3の中で、プログラム内訳9.参照制約設定を起動させます



Web会社選択 において、該当するWebマスタを選ぶと 自動的に、参照制約設定 の画面に変わります。

(今回の作業例) 財務マスタに ・科目に「753調査費」が 新しく追加されました ・さらに、この科目の中には 枝番「2502大阪営業所」が含まれています これら2つの要素を 参照制約「大阪参照用」に 追加していきます



) 参照制約一覧 から 大阪参照用を 選び

- 科目を選んで
-) 753調査費 を選び
-) 追加 を押します



枝番も同様に

-) 参照制約一覧 から 大阪参照用を 選び
- 枝番を選んで
-) 753調査費2502大阪営業所 を選び
-) 追加 を押します



いづれも場合も、右側の一覧表から 中央の枠内に表示が移りましたら、 右上の処理終了を押します。 追加 を押した後で、